

相談室だより

教室掲示

No.5 令和7年12月2日(火)
石川県立金沢桜丘高等学校相談課



期末試験も終わり、いつの間にか気づけば『師走』。1年の折り返しも過ぎています。月日が流れるのは本当に早いですね。

さて、12月4日(木)～10日(水)までの1週間は「人権週間」です。12月4日の朝は、本校でも放送部の協力により、人権週間についての校内放送が流れます。また、9月には1年生を対象に地歴公民科の角谷先生を講師として、「人権教育講座」を開催しました。角谷先生は、お話しの中で、「人は誰かに助けられた時、その救ってくれた相手を『神』と思う。だから、是非皆さんも誰かの『神』になってください。」と熱いメッセージを繰り返していました。人権の大切さは何年生でも同じです。また、「お互いの人格を尊重できるクラスは成績が伸びる」とも言われています。誰もが居心地のよい雰囲気をみんなで作っていきましょう！



今月は、角谷正人先生による「1年人権教育講座」の感想文特集です。

上級生の皆さんも1年生の感想文を読んで、「身近な人権」について考えるヒントにしてください♪

感想文からの抜粋

・人権についての講座を受けて、まず「知ること」がとても重要だと感じました。相手の立場に立って考えることは簡単なようで、実際は意識しないとできないことだと思います。また、多様性や異質性を「個性」として捉える考え方には、前向きで心に残りました。これから生活していく中で、相手を理解して尊重する姿勢を忘れずにいたいと思いました。

・私は今回の人権講座を聞いて、人権について改めて深く考えることができました。私が特に印象に残ったのは、「桜の神になってください。」のところです。神様という存在は、私たちの身近からかけはなれていると思っていたけれど、角谷先生のお話によるとそうではなくて、誰かを助ける優しい人が神様であると知りました。このことを聞いて、私も他人との多様性や異質性をしっかり認めて、誰かにとっての神になりたいです。

・人権は誰もがもっているとても大切な権利だし、誰にも奪われないものだから、いじめや差別は改めて良くないことで、やってはいけないと分かった。自分がやる側には絶対になりたくないし、ならないようにしたいと思う。逆にやっている人がいたら、たとえ自分や周りの人が「やめて」といえなくても、何かできることはあると思うから勇気を出して行動できるようになれたらいいと思う。一人一人の個性を尊重できる多様性の世の中にもっとなってほしい。

・私はずっといじめは「している側」が悪いと思ってきましたが、いまでも「されてる側」が悪いと思っている人はいると思います。ただ、いじめはダメだという話はよく聞きます。でも多数派が意見を変えるべきだという考えは、はじめて聞きました。多様性という言葉が広がっているように、少数派の人のことを認めることは大切だと思いました。みんなそれぞれ良さがあって、周りの人とちがっている人もその人らしさなんだと、互いに認めあえる社会になってほしいです。

・私は講座を受けて、「誰かの神になる」という言葉が強く印象に残りました。いじめる側の人は、人権や相手の立場について考えようとしていません。被害を受けている人を守ったり、気にかけたりする方法で、その人を救うのが最善の方法だと学びました。このような、自分が相手のためにできる、最善の行動を選んで実行していくことが、「神になる」第一歩だと思いました。これから、自分の頭でよく考えた行動をしたいです。

・つい最近まで、差別される人に原因があるとされていたことに驚いた。大勢で少数をいじめるのが犯罪となっても、犯罪をしてしまった人にカウンセリングを行い、決して人権を侵害するようなことはしないという姿勢が大切だと知った。当たり前でも意外と難しいと思う。もし自分が被害者になったとしたら、加害者を恨むからだ。講座を受けて、第三者や法の存在が人権を守るにあたって必要不可欠であると改めて学んだ。

以上が感想文の抜粋です。この他にも、「人権教育講座」を受けて、自分の心が変化したことを沢山の生徒が書いていましたよ！



1年生の皆さん、とても素敵な感想を

ありがとうございました！

柳澤たまき先生より



原則、毎週水曜日
12:00～17:00に相談室にい
ます。相談したい生徒さんは前もって
予約してくださいね！
12月は、3日、10日、17日
1月は、14日・21日・28日
いますよ！